

# プロデュース事業を強化

遊休地  
有効利用  
民間企業などに提案

日本グランデ

分譲マンションの「グランファール」シリーズを展開する日本グランデ(札幌市中央区大通西5

の1の1、平野雅博社長)は、事業の中心となる自社物件の開発に加え、プロデュース事業を強化する方針だ。事業立案から物件の企画設計、広告活動、モデルルームの設置、販売までトータル的に手掛ける。遊休地を抱え、地価下落で売却などが困難となった所有地の有効

利用を模索している民間企業などに提案していく考え。

同社は2003年4月の設立以来、自社物件の開発を中心に事業を展開。多彩な共用施設や屋上庭園などを備えるなど、工夫を凝らした企画が高い評価を受け、立地の良さも加わり多くの完成前売を成し遂げてきた。

これまでも、ジオグリップで分譲マンションの

開発などを手掛けるジオエステート(本社・名古屋)やミリオンホーム(同・札幌)など6棟の

プロデュース実績があるが、07年からは自社物件の開発に注力してきた。同社が手掛けた物件は

## 友 山口産商に依頼

栄 有料老人ホームゆう新築

【旭川】栄友(東川町北町4の9の26、村上文

11月のオープンを目指している。

明社長)は、有料老人ホームゆう新築の設計施工を山口産商に依頼し、着工した。10月中旬の完成、

規模はW造、2階、延べ645平方メートル。20床で、各階にバス、トイレ付き個室10部屋と食堂

賃貸マンションも含め23棟、総戸数は1000戸以上に上る。今後は、自社物件の開発に加え、これまでのノウハウを生かしたプロデュース事業を積極的に展開することで「土地の有効利用を勧めることで遊休不動産の活性化と、自社のさらなる発展を目指していきたい」と石井雅之同社取締役事業部部長としている。

を配置。オール電化とする。

介護予防に向けた外部サービス混合型の有料老人ホームで、介護認定以外も入居が可能。2階の2部屋は、夫婦同居や広いスペースを求める富裕層のニーズに対応するため、通常個室の約2倍の広さとした。